

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害福祉課
評価対象期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立八幡西障害者地域活動センター	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市八幡西区香月西四丁目 5 番 3 号		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <u>完全利用料金制</u>		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/>	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/>	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会		
	所 在 地	北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（生活介護、自立訓練（生活訓練）、就労継続支援（B型））の管理運営		
指定期間		平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。				
【所見】				
<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めている。 自立訓練事業では、相談を中心に、利用者が望む社会生活の実現に向けた支援に努めている。 就労継続B型では、施設外就労への取り組み（1ヶ所増）等により、月平均工賃15,647円となり、年度当初の目標（12,100円）を達成した。 特別支援学校からの卒業生の受入れや訪問等により利用者増につながった事業もあるが、他施設への移行や利用者の長期欠席等の影響により、施設利用率が92.2%と目標（94%）を下回った。 広報紙を毎月（520部）発行し、配付するほか、ホームページでは月4回程度更新（年43回）を行うなど年度目標を達成する広報活動が実施されている。 				
【利用率】				単位：%
年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	—	92	93	94
実績	90	92.0	85.7	92.2
【月平均工賃額（就労継続B型）】				単位：円
年度	H23年度	H24年度	H25年度	
目標値	—	11,600	12,100	
実績	9,659	15,420	15,647	
(2) 利用者の満足度				
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。				
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。				
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。				
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。				
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、そ				

の効果があつたか。

⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があつたか。

【所見】

- ・アンケートの結果、施設の各サービスの「とても良い」、「良い」を合わせた評価は、70%以上（生活介護 87%、就労支援 72%）となっており、利用者の満足度は概ね高いものとなっている。
- ・利用者からの苦情に対して適切に対応していくため、法人として苦情解決制度を設けており、また、施設の内部周知へ対応等により、利用者からの出された意見や苦情等に対して適切に対応している。
- ・イベントなどは、利用者の自己選択の幅を設け参加しやすく配慮されている。また、利用者参加型の企画委員会の設置など、利用者の意見を反映している。
- ・行事や活動等の説明に、利用者個々に配慮した情報提供に取り組んでいる。
- ・生活介護における活動や、行事の実施にあたっては、ボランティア(71名)を受け入れ、交流や、障害の理解促進を図っている。

施設の総合評価

【満足度】

単位：%

年度	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	70	75	80
実績(生活介護)	85.6	83.9	87.2
実績(就労支援)	78.7	77.3	72.0

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があつたか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

- ・使用する設備備品について定期点検や清掃及び温度設定の管理など、節電に向けた取組みに努めている。特に、ガス使用については、空調業者に細かく頻回に点検依頼する等、経費節減に努めている。

【光熱水費】

単位：千円

年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
予算	—	8,692	7,289	9,338
決算	8,447	8,547	9,899	9,908

【指定管理料】

単位：千円

年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
予算	31,075	31,075	0	0
決算	31,074	31,074	0	0

※H24年度から完全利用料金制に移行

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み**(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況**

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
- ④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。

[所見]

- ・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。
- ・法人が主催する研修会や、外部の研修・講習会に職員が参加しており、職員の資質・能力の向上を図っている。
- ・近隣の香月小学校生徒（4年生全員）の施設見学の受け入れや、園芸、スポーツをとおした交流に力を入れており、また、地域イベントへの参加、地区社会福祉協議会や理事会、まちづくり協議会との積極的な地域貢献や交流に努めている。
- ・職場実習として、大学生等を実習生として7名を受け入れ、将来の社会福祉人材の育成に貢献している。また、体験実習として、特別支援学校等の生徒を4名受け入れ、生徒の今後の進路決定の一助を担っている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。
- ② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。

⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。

⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。

⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

- ・利用者の個人情報保護、人権尊重及び身体拘束等への取り組みにより、適切な運営に努めている。
- ・日常の事故防止や安全対策の取り組みとして、「ヒヤリハット報告」の速やかな対処と職員間の周知の徹底を図り、事故に対する意識向上に取り組んでいる。
- ・定期的なカンファレンスにより、利用者支援についての振り返りを行うなど、適切な支援に向けた取組みが行われている。
- ・避難訓練、AED研修会、防災情報の収集など、救急救命に対する職員の技術及び意識向上に取り組んでいる。

【総合評価】

[所見]

事業計画に沿って施設の運営管理が適切に行われており、利用者の障害特性やニーズにあったサービス提供に努めている。

また、就労系サービスについては、就労外就労先の開拓を行い、工賃目標を達成している。

[今後の対応]

現状に引き続き、施設の管理運営の適切な実施、また、利用率の向上へ向けた取り組み及び地域交流の推進に期待する。